

●現在は CCDが消えた時代でも、萩原が1975年に発明した残像のない超光感度の受光素子は CCD型電荷転送装置が脚光を浴びたアナログTV時代だけでなく、現在の CMOS型電荷転送装置のデジタルTVの High Definition 時代でも広く採用されている。

●受光面がピン留めされた Triple 接合型の 受光素子には、残像がない完全電荷転送機能を保持している。

●萩原の1975年のVODの発明により電子シャッターが実現した。

民生ビデオカメラにはつ」とその発明の背景の事実を、出願特許そのものを証拠として中立な立場で判断していただき、中立なコメントをいただき、WIKIPEDIAなどや新聞やTVや雑誌に今後とり扱ってもらい、現在のまちがった重大な事実誤認内容を訂正してほしいです。

こんな今の状態で真の発明者が忘れさられ軽視されるようでは、だれもそんな半導体電子産業に若者は関心をもたないでしょう。

技術者や発明者がいなしろされ使い捨てされる半導体電子産業に若者は関心がないのではないのでしょうか？(涙)

萩原良昭(AIPS)

+++++

<http://www.aiplab.com> hagiwara-yoshiaki@aiplab.com

<https://www.ssis.or.jp/> hagiwara@ssis.or.jp

<https://www.sojo-u.ac.jp/> hagiwara@ofc.sojo-u.ac.jp

<https://ja.wikipedia.org/wiki/萩原良昭>

[https://en.wikipedia.org/wiki/Yoshiaki\\_Hagiwara](https://en.wikipedia.org/wiki/Yoshiaki_Hagiwara)

+++++

